



COVER STORY

株式会社 タツミホーム

平成5年3月に辰巳不動産を開業。十文字・稲川などで不動産事業を営む。平成8年4月に有限会社辰巳不動産に名称変更し、平成9年10月には不動産部門と住宅部門を統合組織変更し株式会社タツミホームになりました。平成14年に十文字町では初となる常設モデルハウスをオープンし、平成21年にはリフォーム館を設置。今年、大仙市に常設モデルハウスをオープンしました。

100人の100通りの思い 100通りの暮らし方 一人一人の『住』を提案

笑顔があふれる 住宅街をつくりたい

20年前、辰巳不動産を創業し、分譲した宅地に住まいを建てたお客様の声を数多く耳してきた代表の沓澤さん。「本当に建てて良かった」と喜ぶ方もいれば、中には「思っていた家と違う」と満足はいく住まいづくりができなかった方もいました。夢を抱いて買った土地には、思い描いたマイホームを建てて幸せに暮らして欲しい、お客様の笑顔があふれる住宅街をつくりたいという思いが強くなり、住宅部門の設立に着手。外観デザインや雪国の住まいのあり方な

ど、住宅建築を一から学び、平成9年に株式会社タツミホームを立ち上げました。起業当初は困難の連続でしたが、失敗も糧に顧客満足度を高める努力を続け、当初2人きりだったスタッフも気が付けば13名に。分譲地にはタツミホームの家が並び、たくさんの家族が笑顔で暮らしています。

ニーズに合わせて 進化し続ける地域ビルダー

タツミホームでは、お客さま一人ひとりの暮らしや家族構成、収入やライフスタイルに向き合い、それぞれ違うお客様の声に耳

を傾けています。その中での「高品質で自由設計の住まいを手が届く価格で建てることはできないか」という声から、構造材のプレカットを採用してコストダウンを図り、最先端の設備と躯体性能はそのままにロープライスを実現した「NICE999」が誕生しました。平成25年4月には省エネに取り組みながら県南で快適に暮らすアイデアが満載の常設モデルハウス「Face」をオープン。住宅は家族の顔であり、会社の顔であるという思い

が込められたコンセプト「Face to Face」がネーミングの由来です。今年の6月には大仙市に常設モデルハウスをオープン。各所に収納スペースを設けたコンパクトな住まいで、家族が増えても空間を広々と使用でき、優れたコストパフォーマンスが特徴です。変化する住まいへのニーズをとらえ、進化し続けているタツミホーム。これからも県南の家族が笑顔で暮らすことができる家づくりを追い続けます。



株式会社 タツミホーム

tel.0182-55-2888 横手市十文字町梨木字海道下89-3
<http://www.tatsumi-home.com/>